

◆活動団体

団体名：NPO法人湯来観光地域づくり公社

連絡先：TEL 0829-85-0670 メール：info@e-yuki.net

URL：https://e-yuki.net

◆活動内容

浅野藩士で絵師の岡岷山（おかみんざん）の足跡をたどって湯来の古道を歩き、描いた絵と見比べながら湯来の文化や歴史に触れる豊かな時間を満喫する。岡岷山は広島藩7代藩主浅野重晟（しげあきら）に仕えた藩士で精密画を得意とした。重晟の絵の教師でもあった。江戸時代後期の1797年に、湯来を経由し北広島町の都志見まで写生旅行をおこない「都志見往来日記」と「都志見往来諸勝図」を藩主に提出した。

これらを手掛かりに江戸時代から残る湯来の古道をめぐる5つのコースを設定した。各コースのパンフレットを参考に、岷山の描いた風景を現在と比べながら湯来を散策するガイドツアーを行っている。

令和3年度は4月から11月まで8回の案内ツアーを計画したが、コロナの影響で中止もあり計5回実施のべ27名が参加した。

第1回	4月 3日	湯の山温泉コース	5名
第2回	5月 8日	石が谷コース	5名
第3回	6月 5日	湯来温泉・船岩コース	(中止)
第4回	7月 24日	大森神社・白井の滝コース	4名
第5回	8月 28日	湯の山温泉・たらたらの滝コース	(中止)
第6回	9月 25日	湯来温泉・船岩コース	(中止)
第7回	10月 30日	石が谷コース	5名
第8回	11月 13日	客人神社・十文字コース	8名

R3年度



要所ではフリップを活用して案内した。



目についた植物を囲んで文字通り「道草」しながら散策。

中国建設弘済会の補助を得て、2世紀あまり前の岡岷山の絵と湯来古道の地図を配した案内板を設置した。

案内板では、岡岷山の「都志見往来諸勝図」のうち湯来町内で描いた12景(15面)の精密な複製をほぼ原寸大で表示することができた。また、湯来に残る古道と岷山が描いた場所を推定して地図上で示した。

この案内板ができたことで、来訪者に湯来古道に親しみをもた、自由に歩いて楽しんでもらえるようにできた。

